

厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）  
学会連携を通じた希少癌の適切な医療の質向上と  
次世代を担う希少がん領域の人材育成に資する研究  
（分担研究報告書）

成人・小児進行固形がんにおける臓器横断的ゲノム診療のガイドライン策定に関する研究

研究分担者 吉野 孝之 国立研究開発法人国立がん研究センター東病院  
副院長（研究担当）、医薬品開発推進部門長、消化管内科医長

研究要旨

急速に進化する臓器横断的ゲノム診療に対応するため、成人・小児進行固形がんにおける臓器横断的ゲノム診療の国内ガイドライン（第3版）の策定が行われた（2022年2月17日に発刊）。令和5年度は、本ガイドラインの外部評価及び啓発活動を行なった。具体的には、MINDS評価、学会主催セミナー開催による啓発活動、および英語論文文化である。それぞれ一定の成果を挙げたと判断する。今後の複数学会を横断したガイドラインの策定および啓発活動の見本となる可能性がある。

A. 研究目的

急速に進化する臓器横断的ゲノム診療に対応するため、2022年2月17日に発刊した成人・小児進行固形がんにおける臓器横断的ゲノム診療の国内ガイドラインの外部評価及び啓発活動を行うこと。

B. 研究方法

・日本臨床腫瘍学会、日本癌治療学会、日本小児血液・がん学会が協働し、2022年2月17日に発刊した『成人・小児進行固形がんにおける臓器横断的ゲノム診療のガイドライン』第3版（以下、本ガイドライン）の外部評価及び啓発活動を行う。

（倫理面への配慮）

ガイドライン策定に関する研究のため該当なし

C. 結果

・MINDS評価；2022年8月24日に日本医療機能評価機構EBM 医療情報部Minds により評価結果レポートが作成された。第3版の改定については、成人・小児進行固形がんにおける臓器横断的ゲノム診療に関する重要なテーマを取り扱った診療ガイドラインであること、図やフローチャート、アルゴリズム等が多用され、ボックス内に推奨が要約されていて、読みやすくするための工夫がみられるため、臨床現場で活用しやすいと評価された。

・学会主催「一緒に学ぼうガイドラインセミナー」開催による啓発活動；2022年9月25日（日）に、公益社団法人・日本臨床腫瘍学会主催により、「第2回一緒に学ぼう！日本臨床腫瘍学会関連ガイドライン」がweb開催され、同セミナーにおいて成人小児進行固形がんにおける臓器横断的ゲノム診断の

ガイドラインセミナーとして、ガイドランスの解説、症例検討（TMB H を有する固形がん、新しい臓器横断的バイオマーカー）、質疑応答・総合討論を行った。

・英語論文化；2023年3月に、以下の3編を

International Journal of Clinical Oncology誌に投稿し、現在査読中である。

1. Japanese Society of Medical Oncology/  
Japan Society of Clinical Oncology/Japanese Society of Pediatric Hematology/Oncology-led clinical recommendations on the diagnosis and use of tropomyosin receptor kinase inhibitors in adult and pediatric patients with neurotrophic receptor tyrosine kinase fusion-positive advanced solid tumor, Third Edition.
2. Japanese Society of Medical Oncology/  
Japan Society of Clinical Oncology/Japanese Society of Pediatric Hematology/Oncology-led clinical recommendations on the diagnosis and use of immunotherapy in patients with tumor mutational burden high tumors, Third Edition.
3. Japanese Society of Medical Oncology/  
Japan Society of Clinical Oncology/Japanese Society of Pediatric Hematology/Oncology-led clinical recommendations on the diagnosis and use of immunotherapy in patients with DNA mismatch repair deficient (dMMR) tumors, Third Edition.

#### D. 考察

日本臨床腫瘍学会、日本癌治療学会、日本小児血液・がん学会が協働し、2022年2月17日に発刊した

『成人・小児進行固形がんにおける臓器横断的ゲノム診療のガイドライン』第3版の外部評価及び啓発活動を行った。具体的には、MINDS評価、学会主催セミナー開催による啓発活動、および英語論文化である。それぞれ一定の成果を挙げたと判断する。

#### E. 結論

複数学会を横断したガイドラインを策定し、令和5年度は、この外部評価及び啓発活動を行なった。今後の複数学会を横断したガイドラインの策定および啓発活動の見本となる可能性がある。

#### F. 健康危険情報

特になし

#### G. 研究発表

##### 1. 論文発表

現在英語版を投稿中（学術論文掲載予定）

##### 2. 学会発表

2022年9月25日（日）に、公益社団法人・日本臨床腫瘍学会主催により、「第2回一緒に学ぼう！日本臨床腫瘍学会関連ガイドライン」を開催。

#### H. 知的財産権の出願・登録状況

（予定を含む）

該当無し